

新登録管理システムについて

2019/2/23 北海道版



北海道の先行稼働について



1. なぜ先行稼働するのか

- ・ 昨年を事故を鑑み、念には念を入れて慎重に進めたい。

2. 選定の理由

- ・ 登録者が多く、地区もきちんと整備されている。

3. お願い

先行稼働期間中に可能な限り登録作業を進めていただきたい。

ヘルプデスクを北海道向けに開設します。

電話番号： 03-3570-6125 土日祝日を除く10-17時（6月まで）

※ただし、北海道先行稼働後の最初の土日3/16～17は受付します。



- 1. システム変更の目的
- 2. スケジュール
- 3. 登録体系のおさらい
- 4. チーム・競技者区分、登録料体系
- 5. 収納代行関連 決済手段とお金の流れ
- 6. BリーグU15チーム設置に関する移行措置
- 7. 情報管理・コンプライアンス（個人情報の取り扱い）
- 8. マスタ初期設定について
- 9. 補足事項



1. システム変更の目的

JBSミッション
3-3 情報戦略の設計・推進
4-1 競技者・エンジョイ・3x3人口の拡充
4-2 人材の養成

新たな付加価値の提供



記録システム（試合結果・スタッツ情報）との連携による個人記録の蓄積

バスケットボールファミリーの一元管理と拡大



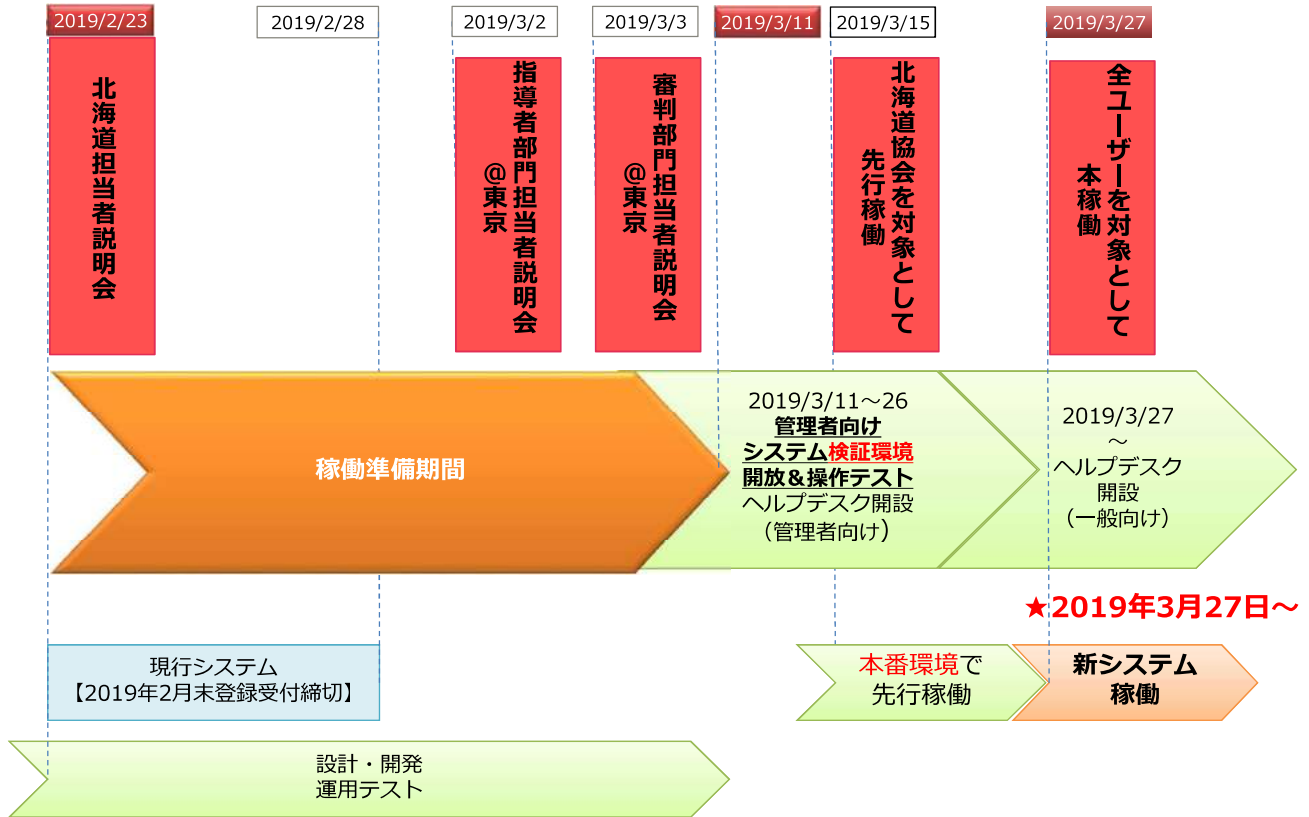
B.LEAGUE会員情報との連携、個人登録の推進によるマーケティング基盤の構築→市場の活性化

システムの汎用性・利便性の向上
（現行課題の解決）



地区・市区町村レベルまで管理できる枠組みの設定等

2-1. スケジュール



3. 登録体系のおさらい

2018年度～

(カテゴリー区分)

(チーム区分)

U12	クラブ				
U15	中学校(部活)	クラブ	Bユース		
U18	高校(部活)	高専	クラブ	(Bユース)	
一般	地域	オープン	エンジョイ	オーバーエイジ40	オーバーエイジ50
	大学(体育会)	専門学校	Bクラブ	WJBL	
障がい者	車いす	車いすツイン	デフ	FID	

・登録の枠はカテゴリーごとの大きな枠組みとする。

(従来の連盟単位の登録は撤廃＝連盟単位での登録料徴収は廃止)

・チーム区分を設け、競技会によっては該当のチーム区分のチームのみ参加可能とする。

(例) IH：高校(部活)チームのみ

・都道府県内に登録管理部門とカテゴリー区分ごとに担当者を設置する。

・障がい者の登録管理も可能とする。

4. チーム・競技者区分、登録料体系

チーム・競技者の登録区分（2019年度～）

カテゴリー	チーム区分	チーム詳細区分	選手年齢区分	年齢（4/1現在）		チーム加盟料(円)		競技者登録料(円)		備考	
				下限	上限	JBA	PBA(上限)	JBA	PBA(上限)		
U12	クラブ	—	9歳以下	設定なし	8歳	2,000	1,000	0	400		
			10歳以上	9歳	11歳(※4)			800	400		
U15	中学校（部活動）	—	—	12歳	設定なし	5,000	2,500	1,000	500		
	クラブ	—	—	10歳	14歳						
	BクラブU15チーム	—	—	10歳	14歳						
U18	高校（部活動）	全日制	—	15歳(※1)	設定なし	8,000	4,000	1,000	500		
		定通制	—	15歳(※1)	設定なし						
	高等専門学校	—	—	15歳(※2)	設定なし						
	クラブ	—	—	12歳	17歳						
	BクラブU18チーム	—	—	12歳	17歳						
一般	地域	—	—	15歳	設定なし	20,000	10,000	2,000	1,000		
	オープン	—	—	15歳	設定なし						
	エンジョイ	—	—	15歳	設定なし						
	オーバーエイジ40	—	—	15歳(※3)	設定なし						
	オーバーエイジ50	—	—	49歳	設定なし						
	大学	—	—	18歳	設定なし						
	専門学校	—	—	18歳	設定なし						
	Bクラブ	B1	—	—	15歳						設定なし
		B2	—	—	15歳						設定なし
		B3	—	—	15歳						設定なし
WJBL	—	—	15歳	設定なし							
障がい者	車椅子	—	—			0	0	0	0	各連盟の登録料の設定あり	
	車椅子ツイン	—	—							各連盟の登録料の設定あり	
	デフ	—	—							各連盟の登録料の設定あり	
	FID	—	—							各連盟の登録料の設定あり	

- (※1) 高校：高校に在籍する選手については18歳以上でも登録可
 (※2) 高専：高等専門学校に在籍する選手については18歳以上でも登録可。
 (※3) オーバーエイジ40：年齢下限は原則39歳（4/1現在）だが、39歳以下も登録可能とする。
 但し、39歳以下は「オーバーエイジ40」の全国大会（予選含む）には出場できない。（大会エントリー時に制限）
 (※4) 小学校に在籍する選手については12歳以上でも登録可

5. 収納代行関連 決済手段とお金の流れ

■ 主な変更点

- 支払方法にクレジットカード支払いが追加となります。※チーム一括支払いは対象外となります。
- コンビニ支払いにセブンイレブンが追加となります。
- 支払期限は原則1週間内となります。（大会等で別途締切がある場合を除く）
- 従来、JBAにて実施していた都道府県協会への配賦処理を収納代行業者にて実施致します。

■ 変更前フロー図 凡例： → …お金の流れ



■ 変更後フロー図 凡例： → …お金の流れ | - - - - - …変更点



【2018年度～2020年度（3年間）の移行措置を設定】

BクラブのU15チームの選手については、2018年度～2020年度の3年間に限り、「BRING UP PLAYER」として、「BクラブU15チーム」と「中学（部活）またはクラブ」の2チームへの所属を可とする。なお、当然のことながら、選手自身が「Bクラブ・U15チーム」の1チームのみを選択することは認められる。

補足

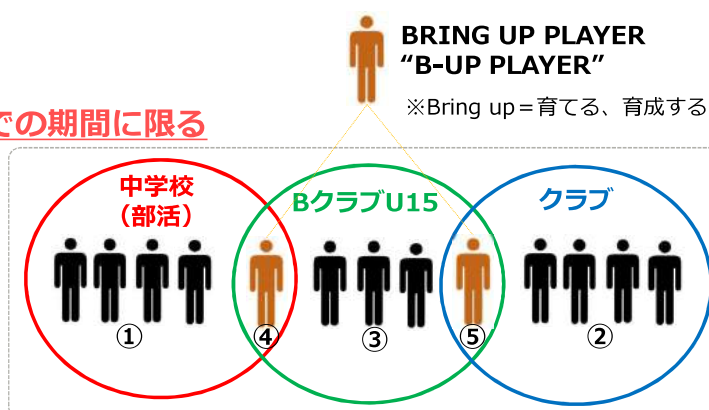
- ・「Bクラブ・U15チーム」以外のチームへの複数所属は認めない。（中学とクラブはNG）
- ・1つの競技会に対しては、2チームからエントリーすることは認めない。
- ・3年間の移行措置後は、「Bクラブ・U15チーム」と他チームとの複数所属は不可とする。

Team JBA登録ケース

①～⑤の5つのケースが存在する

※2018年4月から2021年3月までの期間に限る

- ① 中学校部活のみ
- ② クラブのみ
- ③ BクラブU15のみ
- ④ 中学部活 + BクラブU15
- ⑤ クラブ + BクラブU15



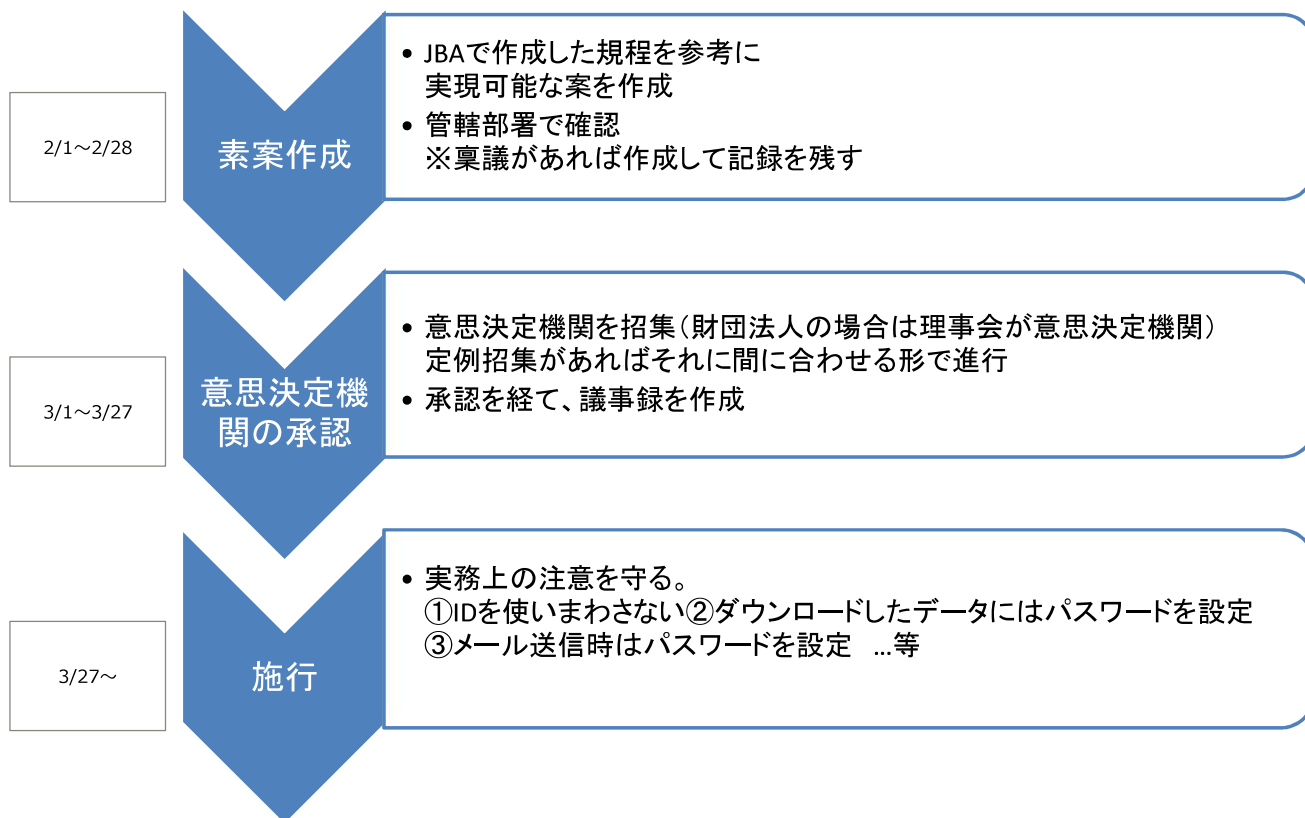
8

7. 情報管理・コンプライアンス（個人情報の取り扱い）

- 「TeamJBA」のデータベースは様々な個人情報が含まれております。各団体管理者は「Team JBA」のデータベースに日常的にアクセスし、傘下チーム/メンバーの個人情報を取り扱うこととなります。
- 個人情報保護の観点から、誤った使用や情報漏えい等の事故が起きないように、個人情報の適正利用について都道府県内での周知徹底をお願いします。なお、重大な違反行為等が生じた場合、JBA規程に基づき厳正に対処いたします。
- JBAでは「個人情報保護方針」「個人情報保護規程」および関連規程が定められております。各団体において規程類の整備、体制の構築が必要です。JBAの規程をモデルケースとして後日共有します。

9

7. 個人情報に関する規程整備のタイムスケジュール例



10

9. 補足事項

🏀 ドメインの変更があります。

現行TeamJBA

<http://team-jba.jp/>

新TeamJBA (3/15~3/26)

<https://teamjba.jp/hokkaido.html>

新TeamJBA (3/27~)

<https://teamjba.jp>

🏀 システム開放に合わせ、2019/3/11よりヘルプデスクを開設いたします。

電話番号： 03-3570-6125

問い合わせフォーム：システムトップ画面からお問い合わせ可能です。

システム内での各団体への**問合せメール受付機能があります。**
(機能追加を実装済み)

🏀 新システムは6:00~24:00で利用可能です。

🏀 現行システムのデータは新システムに移行します。 また、現行システムは4/30まで利用可能です(登録機能除く)

🏀 登録者向けの案内は2月下旬、JBAから一斉メールにて通知予定。 (HPにも掲載します。) 内容は都道府県協会にも共有させていただきます。

11

新登録システムの主な変更点



目次



1. システム利用範囲、管理者の変更
2. ID運用方針の変更、ID統合、ID取得方法
3. 本人登録の必須化
4. ログイン認証機能
5. チーム、競技者登録の流れ
6. 大会設計
7. 講習会～ライセンス管理
8. メール配信機能



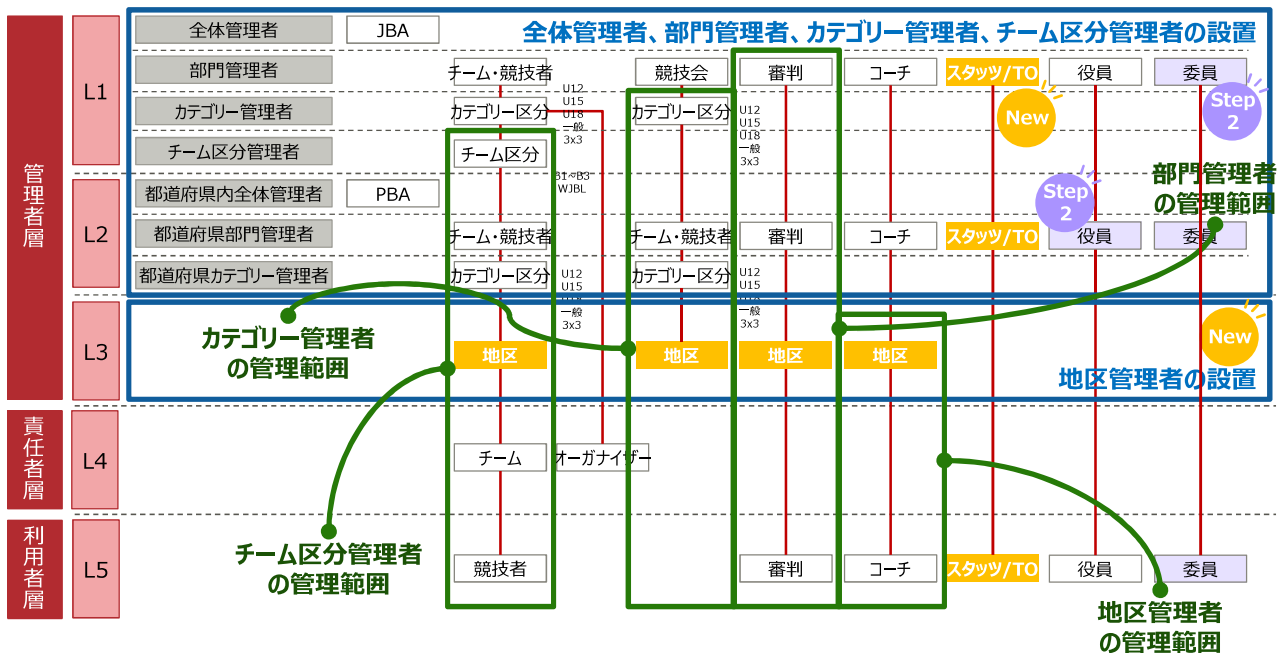
システム利用範囲、管理者の変更



システム利用範囲、管理者の変更



- 連盟の見直しに伴い、部門、カテゴリ、チーム区分管理者を設置します。また、地区レベルの大会や講習会の開催にも対応できるよう、地区管理者を設置します。また、スタッツ/TOのライセンス化(将来)を見据え、スタッツ/TO部門を設置します。
- 部門、カテゴリ、チーム区分管理者は自身の配下の情報のみ管理可能とします。
 - ※チーム競技者部門 : チーム、競技者の登録を管理する部門
 - ※競技会部門 : 大会の登録、申込を管理する部門
 - ※審判部門、コーチ部門、スタッツ/TO部門 : 各ライセンスの講習会開催、ライセンス管理を行う部門(講習会～ライセンス取得までを自動化します)



<参考> 新旧団体対応表

旧団体		新団体		
日本バスケットボール協会	日本協会	日本バスケットボール協会	L1	全体管理者
日本バスケットボール協会 審判部	日本協会	日本バスケットボール協会 審判部門	L1	部門管理者
日本社会人バスケットボール連盟	全国連盟	日本バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリー	L1	カテゴリー管理者
日本バスケットボール協会 U12部会	全国連盟	日本バスケットボール協会 チーム競技者部門 U12カテゴリー	L1	カテゴリー管理者
ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ B1	全国連盟	日本バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリー B1 チーム区分	L1	チーム区分管理者
青森県バスケットボール協会	都道府県協会	青森県バスケットボール協会	L2	全体管理者
青森県バスケットボール協会 審判部	都道府県協会	青森県バスケットボール協会 審判部門	L2	部門管理者
青森県社会人バスケットボール連盟	都道府県連盟	青森県バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリー	L2	カテゴリー管理者
青森県バスケットボール協会 U12部会	都道府県連盟	青森県バスケットボール協会 チーム競技者部門 U12カテゴリー	L2	カテゴリー管理者
山形県最北地区実業団連盟	地区連盟	山形県バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリー 最北地区	L3	地区管理者
山形県最北地区クラブ連盟	地区連盟	山形県バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリー 最北地区	L3	地区管理者

<参考> ID体系について

メンバーIDの考え方

現行システム

0 00000000

性別 ランダム 8桁
5: 男性
6: 女性

新システム

000000000

ランダム 9桁

- 新システムでは**9桁ランダムでの数値**とします。
- 現行システムから移行されたメンバーIDは**そのまま保持**します。
- 新システムで新たにメンバーIDを発行する際は、既に発行されているメンバーIDと重複しないように採番します。

チームIDの考え方

現行システム

45 0000000

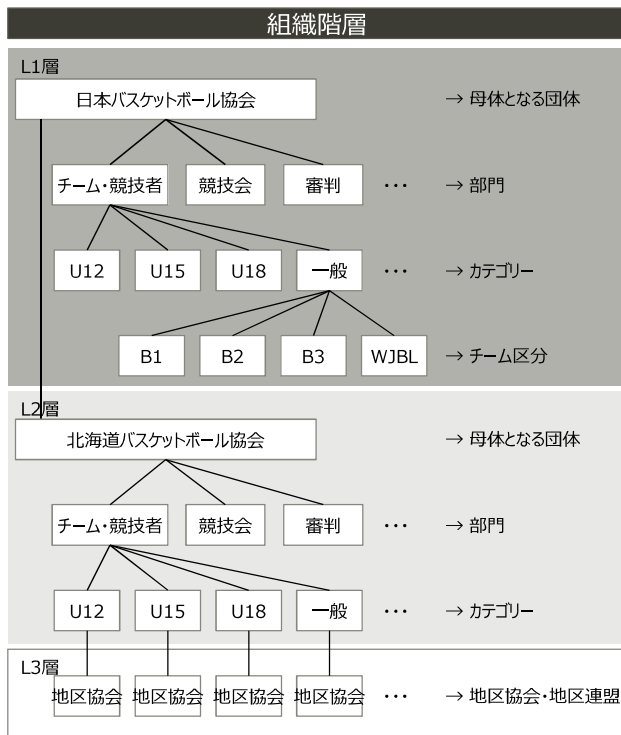
45: 男子 ランダム 7桁
46: 女子

新システム

T 00 0000000

T: 固定 男子: 45 ランダム 7桁
女子: 46

- メンバーIDとの混同を避けるため、IDの先頭に**固定で“T”を付与**します。
- 新システムで新たに付与されるチームIDは、現行システムと同様に**T+45 (男子) または46 (女子)**をIDの先頭に付与します。



団体IDの考え方

G 00 00 00 00 00 00

G: 固定 都道府県 部門 カテゴリー チーム 地区 その他
 区分 区分 区分 区分 枝番 階層用
 01~47 01~08 12~40 01~19 01~99 枝番

L1層の母体となる団体ID
 日本バスケットボール協会: G990000000000

L1層のチーム・競技者部門の団体ID
 日本バスケットボール協会
 チーム・競技者部門: G990100000000

L1層のチーム・競技者部門 一般カテゴリーの団体ID
 日本バスケットボール協会
 チーム・競技者部門 一般カテゴリー: G990130000000

L1層のチーム・競技者部門 一般カテゴリー B1の団体ID
 日本バスケットボール協会
 チーム・競技者部門 一般カテゴリー B1: G990130010000

L2層の母体となる団体ID
 北海道バスケットボール協会: G010000000000

L2層のチーム・競技者部門の団体ID
 北海道バスケットボール協会
 チーム・競技者部門: G010100000000

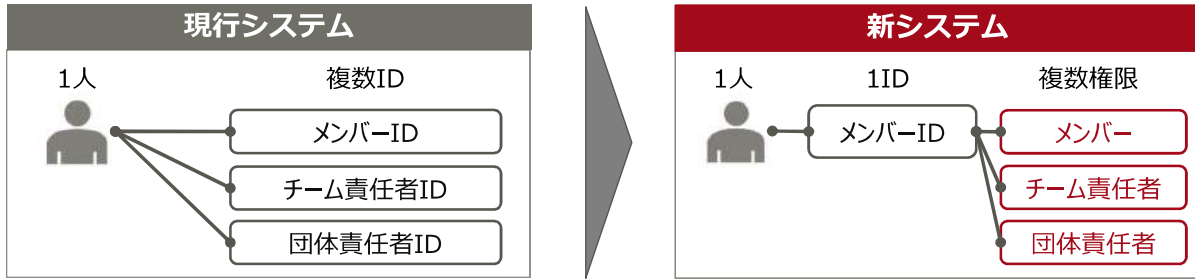
L2層のチーム・競技者部門 一般カテゴリーの団体ID
 北海道バスケットボール協会
 チーム・競技者部門 一般カテゴリー: G010130000000

L3層の地区協会の団体ID
 北海道バスケットボール協会
 チーム・競技者部門 一般カテゴリー 南地区: G010130000100

ID運用方針の変更、ID統合、ID取得方法

ID運用方針の変更

- 「ID忘却の減少」や「個人データの統合管理」の観点より、新システムでは、1人1IDの登録運用を行います。
- IDとは別に任意の「ログインユーザー名」を設定可能です。設定した場合は9桁のIDを覚える必要はなくなります。

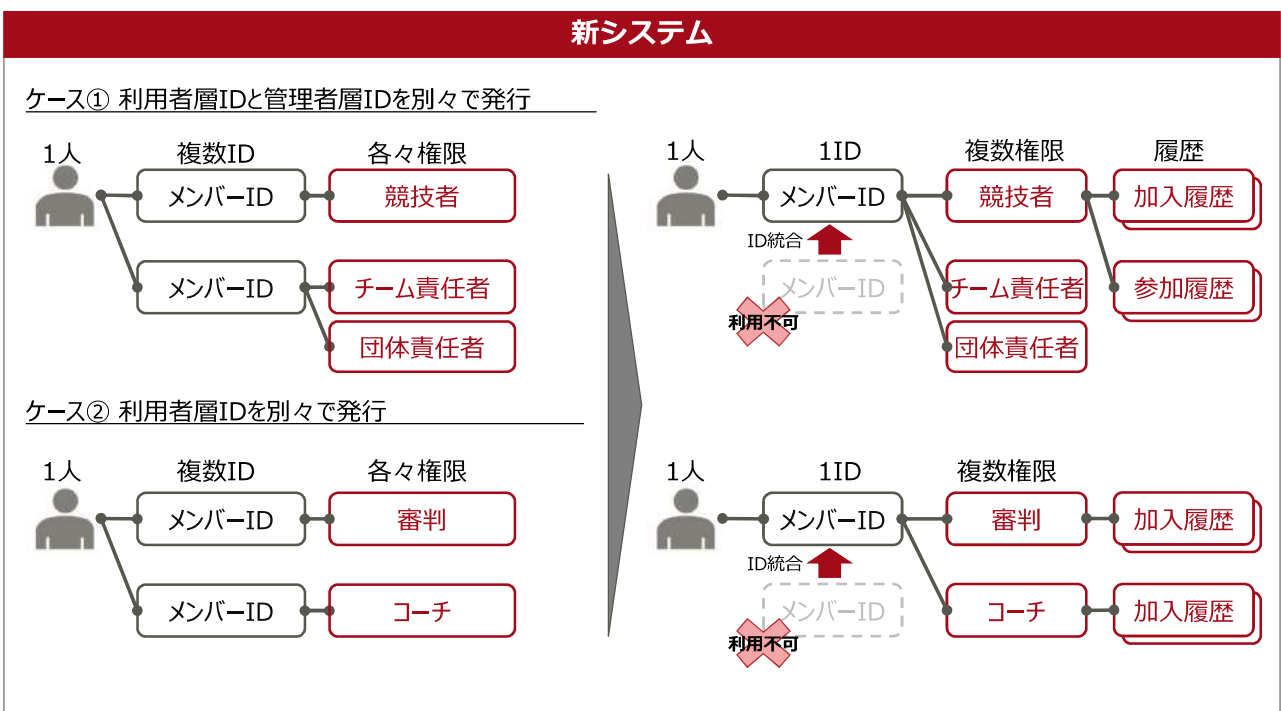


1人	1ID	初期権限				L1~L3系権限			L4系権限				複数権限					L5系権限		
		メンバー	団体管理者	チーム責任者	オーガナイザー	競技者	審判	コーチ	コミッショナー	スタッフ/TO	役員									
JBA太郎	00001234	○																		
JBA花子	00005678	○	○	○																
JBA次郎	00009999	○																		

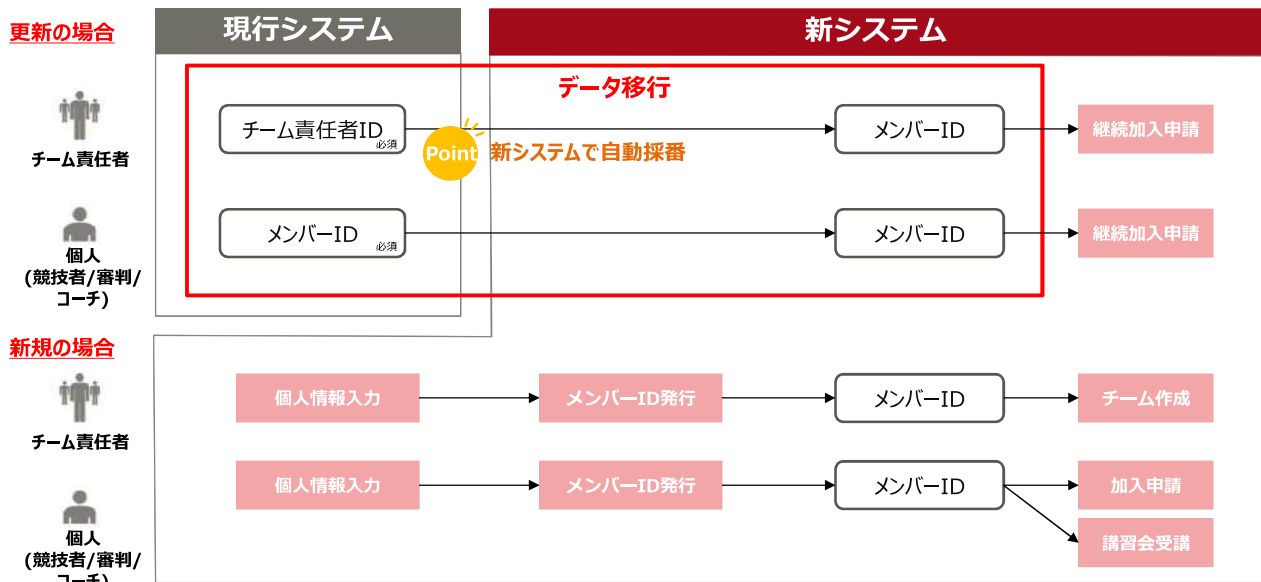
1人に対して複数のレイヤーをまたがる権限を付与した場合に、用途に応じたメールアドレスが登録可能です

ID統合

- ID忘却後メンバーIDを再取得するなどしてメンバーIDを二重発行してしまった際、メンバーIDの統合を行って下さい
- メンバーIDの統合を行うことで、加入履歴情報や大会・講習会の参加履歴情報を統合先のメンバーIDに繋げることができます。



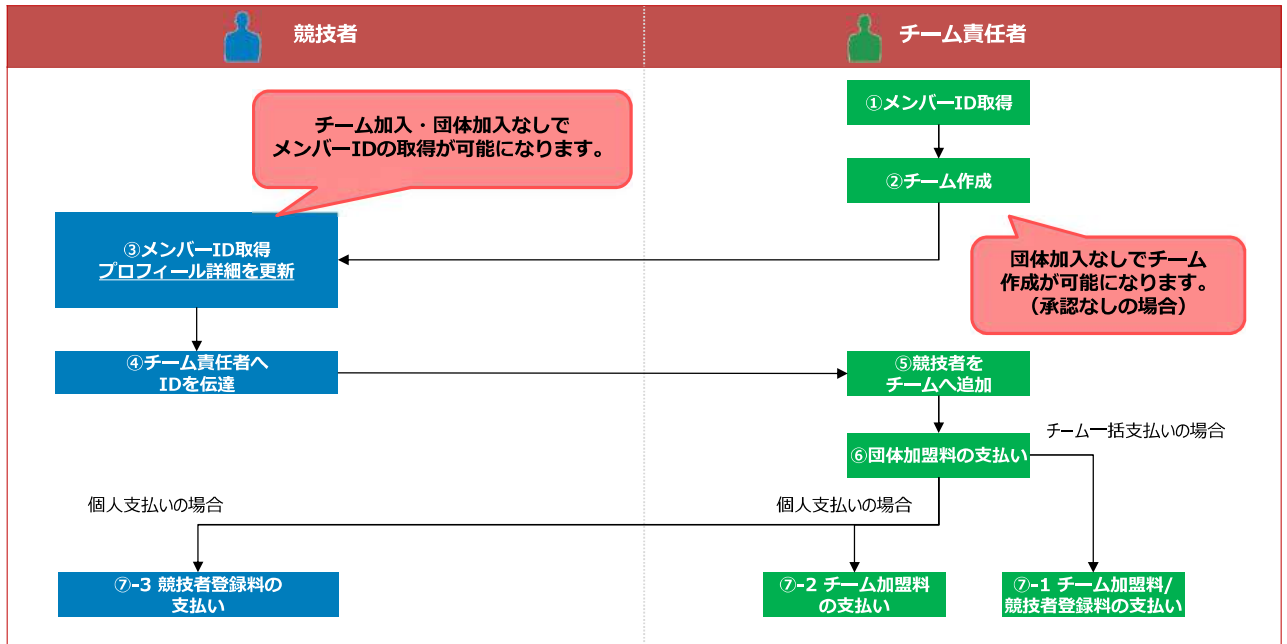
- 団体責任者は新規メンバーID取得後、団体責任者として割当てを行うことで管理者権限を持つことができます。
(責任者情報の移行は行いません)
- 現行システムでチーム責任者だった利用者は、責任者情報を新システムに移行し、新システム側で新規メンバーIDを自動発行します。新規にチームを登録する場合は、新規メンバーID取得後に、**チームの新規登録**をすることでチーム責任者となります。
- その他の個人利用者は自身で新規メンバーID取得を行うことで、新システムを利用することができます。



- ・ 本人登録の必須化
- ・ ログイン認証機能

- IDの本人管理を推進していくために、**U18・一般カテゴリー**においては**本人登録を必須**とします。
- 全カテゴリーについて、現行システムと同様に、責任者による登録を可能とします。

チーム競技者登録の流れ



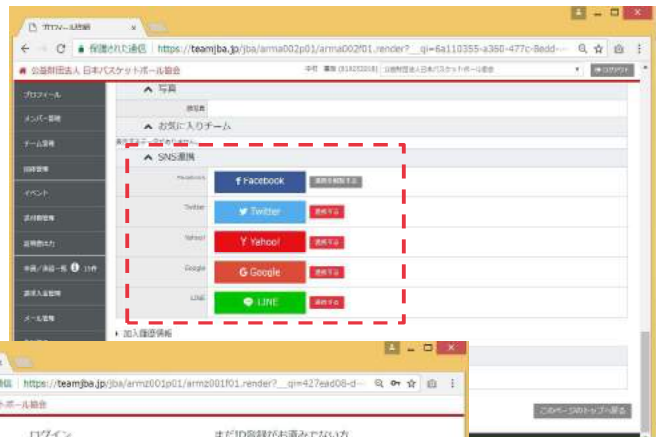
ログイン認証機能

- SNSアカウント等外部サービスでの新規登録、ログインが可能な仕組みとし、利便性の向上を図ります。

新規メンバー登録-SNSアカウントによる認証



プロフィール詳細画面-SNSアカウントとの紐付け



(↑) ※Twitter,LINEはメールアドレスの連携が出来ないため新規メンバー登録時には利用できません。

ログイン画面-SNSアカウントによるログイン



チーム、競技者登録の流れ



チーム、競技者登録の流れ



現
行
シ
ス
テ
ム

加入コードを指定して都道府県に加入申請
承認時に過去の加入履歴を確認できない

加入コードの問合せが多い
移籍を繰り返す競技者を発見しにくい
競技者移籍に手間がかかる

新
シ
ス
テ
ム

- 1 加入コードの撤廃**
 - ・ 都道府県、カテゴリー、地区選択による加入申請
 - ・ 都道府県への問合せなしで加入申請可能
- 2 チーム・競技者加入申請承認有無 設定機能の新設**
 - ・ 各都道府県のルールに応じて承認有無を設定可能
 - ※新規チームのみ承認可能、継続チームは承認なし
- 3 競技者移籍機能の新設**
 - ・ チーム責任者による競技者移籍機能を新設
 - ・ **「本人による移籍手続」を実装完了**
 - ・ 移籍元チーム責任者による許可のみで移籍手続きを実施可能

	チーム承認	競技者承認
U12	あり	なし
U15	あり	なし
U18	あり	なし
一般	あり	なし

チーム責任者初回ログイン時の注意

!! 重要 !!

IDとは別に任意でユーザー名の設定が可能です。
 例えば ID : 123456789 という人がいた場合、IDとは別にユーザー名を設定可能です。
 例えばユーザー名を「JBA2019」に設定すれば9桁のメンバIDを覚える必要はなくなります。

ID : 123456789 ← ×覚えにくい

ユーザー名 : JBA201901 ← ◎覚えやすい

!! 重要 !!

2018年3月には自動採番された新IDをメール通知しましたが、今回メール通知はありません。
 チーム責任者のユーザー名は「T」+ 責任者IDで初期セットされています。

例) T4512345671

初回ログイン後はより覚えやすいユーザー名に変更をお願いします。

また、競技者とチーム責任者を兼任していた場合、新システムではIDが複数となるため、初回ログイン時にIDの統合が必要です。

大会設計



30

大会設計



現
行
シ
ス
テ
ム

単独チームの大会申込管理のみ可能

選抜チームの大会管理ができない。
エントリー変更の受付ができない。
記録システムと連動していない。

新
シ
ス
テ
ム

- 1** 柔軟な大会設定が可能
 - ・システム上でのエントリー変更受付機能を追加
 - ・単独チームの他、選抜・混成チームにも対応
 - ・未登録競技者がエントリーできるイベントの設定も可能
- 2** 予選大会→決勝大会の紐づけにも対応
 - ・県大会→全国大会への自動エントリーが可能
- 3** 将来的に記録システムとの連携によるチーム成績、個人成績の蓄積が可能に
 - ・チーム単位、個人単位での記録の集計、閲覧が可能

(例：1大会トータルのチーム成績、年間での個人成績)

記録システムについても
今後各団体でも手軽に
利用できるような
追加開発を検討中

31

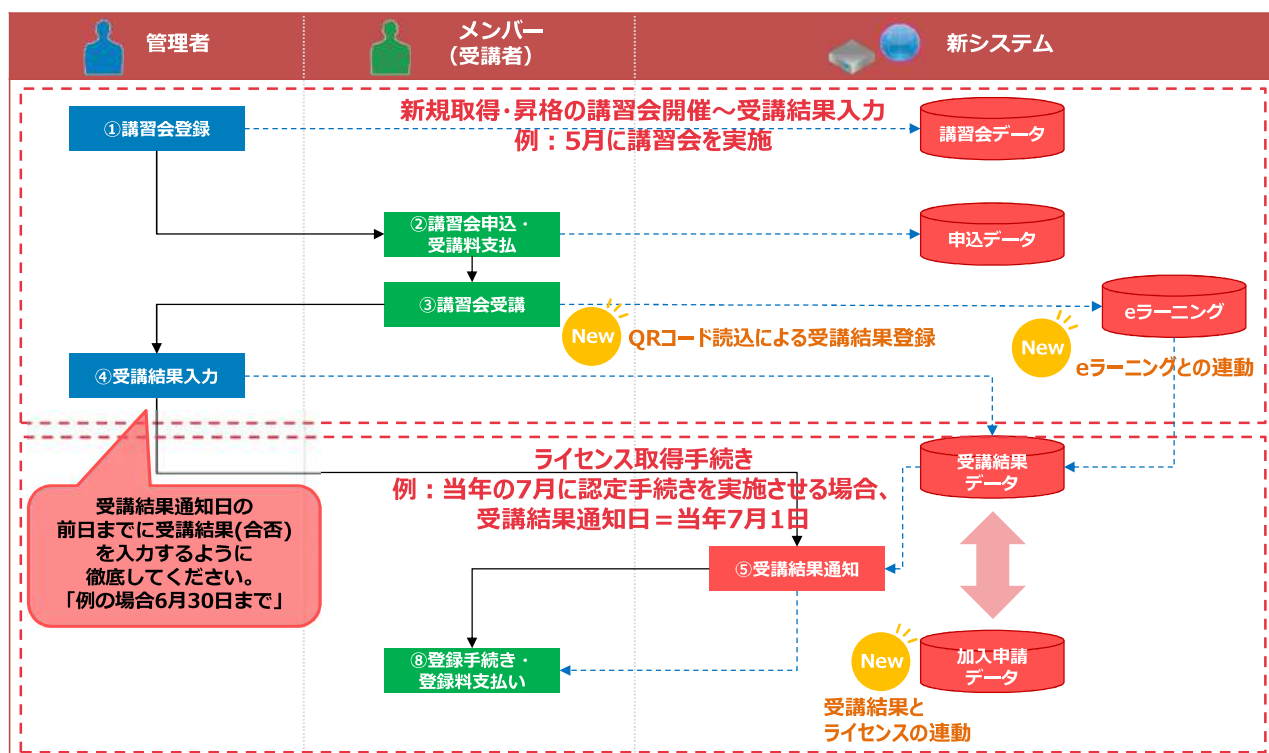
講習会～ライセンス管理



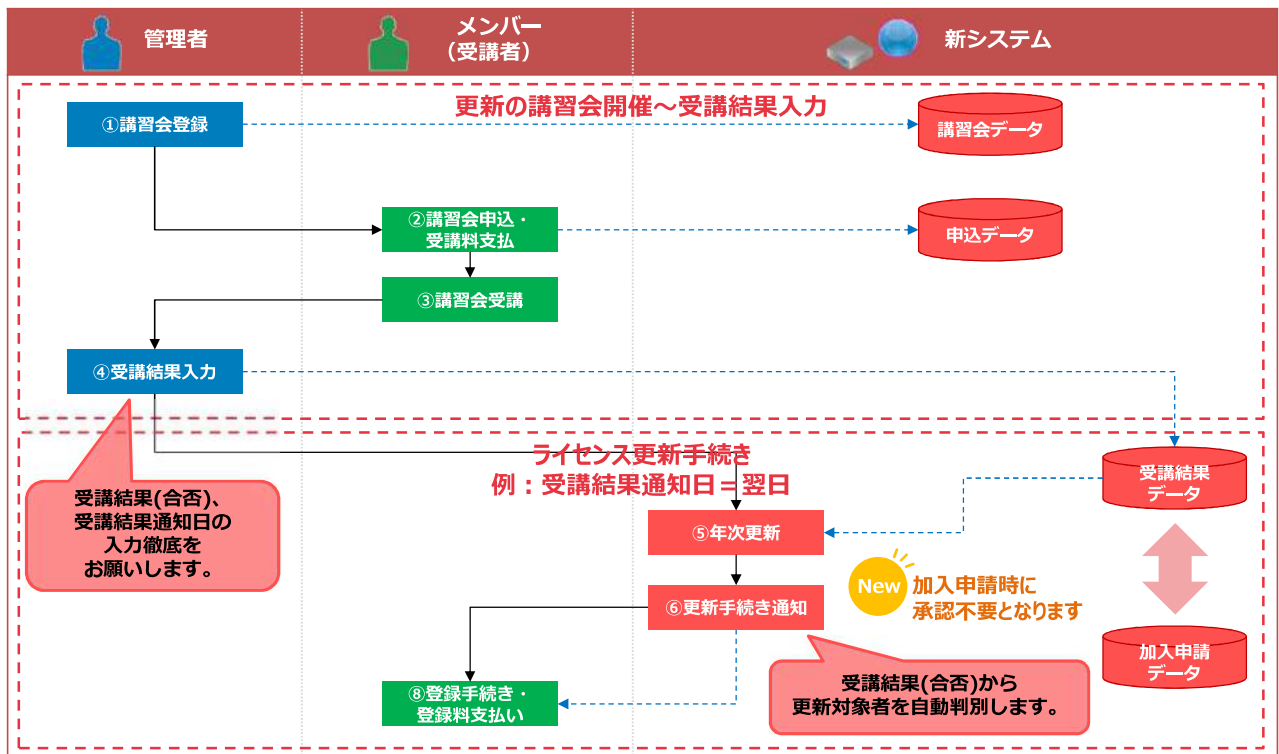
講習会～ライセンス管理（新規・昇格）



- 講習会・研修会、ライセンス（登録承認）をそれぞれ別に管理する必要がありましたが、新システムでは、講習会・研修会の受講申込・受講結果～ライセンスの登録・更新を一本化します。

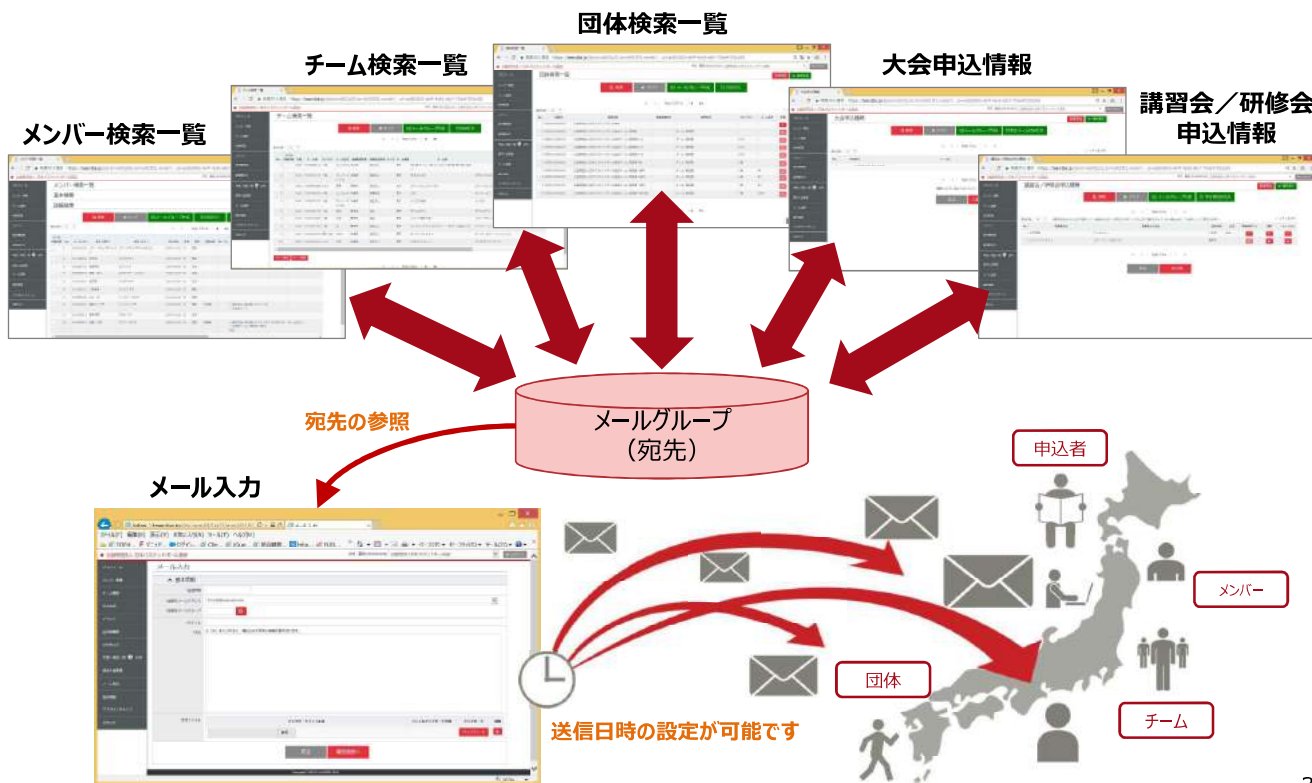


■ 講習会・研修会、ライセンス（登録承認）をそれぞれ別に管理する必要がありましたが、新システムでは、講習会・研修会の受講申込・受講結果～ライセンスの登録・更新を一本化します。



メール配信機能

- メール送信画面を集約するため、メール配信手順が変更となります。各一覧画面からメールグループを作成後、メール本文を作成する手順となります。



バスケットボールが 日本を元気にします!